

校長室より



令和5年4月、浅野川の清らかな流れ、故郷の峰々を望む朝霧台の地に朝霧台小学校が開校しました。校章は、緑豊かな地域であること、また新校舎に木がふんだんに使われていることなどから、「年輪」と「緑（葉）」がモチーフになっています。年輪の如く、一年一年積み重ねていくように、子どもたちが6年間という時を大切に過ごしてほしいという願いも込められています。この校章に込められた想いと校風が本校の歴史となり、朝霧台小学校が次の時代へと受け継がれていくことを願っています。

開校3年目にあたる令和7年度は、児童数559名、20学級でスタートしました。

今年度も、学校教育目標「温かなかわりの中で、豊かに学び、未来を志向する子」の育成に向け、めざす児童像「あいさつと感謝でつながる笑顔の子」「自他を大切にする心温かな子」「好奇心を持ち、視野を広げ、楽しみながら学ぶ子」「心身が健やかで、未来への夢や希望を持つ子」を掲げ、さまざまな教育活動に取り組んでまいります。価値観が多様化し、未来を予測することが困難な時代だからこそ、一人一人が自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働することを通して、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手へと成長させたいと考えています。

子どもを中心に据えて、教職員の思い、保護者や地域の方々の願いを取り入れながら、絶えず創意工夫を重ね、「ドキドキ、わくわく、動き出す 朝霧っ子」を合い言葉に、子どもたちを育んでまいります。温かな木のぬくもりを感じる校舎で、仲間と切磋琢磨しながら高め合う、かわりを大切にした豊かな学びを目指して取り組んでいきますので、今年度も保護者の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



金沢市立朝霧台小学校長 松井 知佳子